

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2023年1月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2023年1月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306
金融法人 (BtoB)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	1,761
マネパカード口座数 (単位: 口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	159,097

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432	500	420	493	468	499	464	575	469		
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574	113,350	127,232	107,703	105,841		
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153	354,034	354,921	355,911	357,388		
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842	59,781	58,087	53,578	54,003		
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679	57,382	58,476	56,055	52,006	52,417		
金融法人 (BtoB)	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559	1,459	1,305	2,031	1,572	1,586		
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026	157,844	157,701	157,517	157,440	155,557		

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

< 1月次の概況 >

1月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=131円台前半で取引が始まり、6日には一時134円台後半（月中高値）まで上昇するも12月の米雇用統計が賃金の伸び悩みを示したことや米12月ISM非製造業景況指数の大幅悪化を受け、米ドルは一時132円丁度付近まで反落しました。その後は131円台前半から132円台後半でのレンジで推移し、12日発表の米CPIでインフレの減速が確認され米金融引き締め長期化懸念が後退し、米ドルは一時128円台後半まで下落、16日には一時127円台前半の月中安値を付けました。18日には日銀が金融緩和策の修正を見送ったことから米ドルは一時131円台半ばまで急騰する場面もありましたが、当日中に一時127円台半ばまで売戻されました。その後は方向感に欠けた展開となり、米ドルは130円台前半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、円に対してはやや方向感を欠く展開となった一方、ドルに対しては上昇基調で推移しました。

外国為替相場の変動率は、1日の平均値幅が1.750円（前月は1.911円）に縮小した米ドル/円をはじめ、多くの通貨ペアで1日の平均値幅が前月から縮小したことから、全体として前月を下回ったものの、2022年2月下旬のロシアのウクライナ侵攻以降、高い水準が続いています。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは業界初となるキャンペーンとして実施していた「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の計5通貨ペアにて、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）の提示を2022年11月16日より標準化（業界初）しました。また、ゴールデンマネパタイム（17時から27時まで、以下同じ。）において、後述の新通貨ペアを含む「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする計16通貨ペアのスプレッドを業界最狭水準で提示するキャンペーンを続行しました。さらに、新通貨ペアリリース記念キャンペーンとして実施していた新規/決済のいずれか1回以上のお取引で、もれなくデジタルギフトをプレゼントするキャンペーンを、好評につき新通貨ペアだけでなく、「米ドル/円」、「豪ドル/円」などパートナーズFXnano主要通貨10通貨ペアも対象通貨に加え継続実施しております。

「約定力100%」のパートナーズFXでは、ゴールデンマネパタイムにおいて、新通貨ペアを含む「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする計16通貨ペアにて、パートナーズFXnanoに次ぐ業界最狭水準のスプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。また、「米ドル/円」は9時から27時までの計18時間スプレッド0.2銭、「メキシコペソ/円」は14時から27時の計13時間にてスプレッド0.1銭の業界最狭水準スプレッドでお取引いただけます。

これに加えて、パートナーズFXではキャッシュバック対象時間中の「米ドル/円」、「ポンド/円」、「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「トルコリラ/円」の計5通貨ペアにおける新規・決済約定数量の合計に対して、指値注文・ストリーミング注文ごとにキャッシュバックするキャンペーンを実施しております。さらに、「米ドル/円」、「豪ドル/円」など計14通貨ペアを対象としたお取引について、新規・決済問わず1回以上のお取引でAmazonギフトカードをプレゼントするキャンペーンを実施しました。

また、マネーパートナーズでは2022年10月24日より、「人民元/円」、「米ドル/人民元」（パートナーズFXのみの取扱）、「ノルウェークローネ/円」、「イスラエルシェケル/円」の計4通貨ペアの取扱を新たに開始しております。とりわけ「人民元/円」においてはゴールデンマネパタイムにおけるスプレッドを業界最狭水準の「0.4銭」で提示し、スワップポイントでも取扱開始以来、最高水準のスワップポイントを付与しております。なお、「イスラエルシェケル/円」のお取引ができるのはマネーパートナーズのみ（※）となります。

このような積極的なスプレッド縮小施策の実施により、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが運営している『MINKABU FX会社年間ランキング』「スプレッド」の項目で、2年連続年間第1位を受賞いたしました。今後も業界をリードするスプレッドのご提供を続け、より多くのお客様にお取引いただけるよう引き続き尽力してまいります。

※一般社団法人金融先物取引業協会 2022年6月末時点会員137社、特別参加者4社を調査

これらの結果、外国為替取引高は、前月比2%減少の1,058億通貨単位となりました。営業収益は、トレーディング損益が減少したことに加え、システム関連売上高が減少し、前月比18%減少の469百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分と金融法人分が共に増加となり、全体では前月比425百万円増加の54,003百万円となりました。

以上